

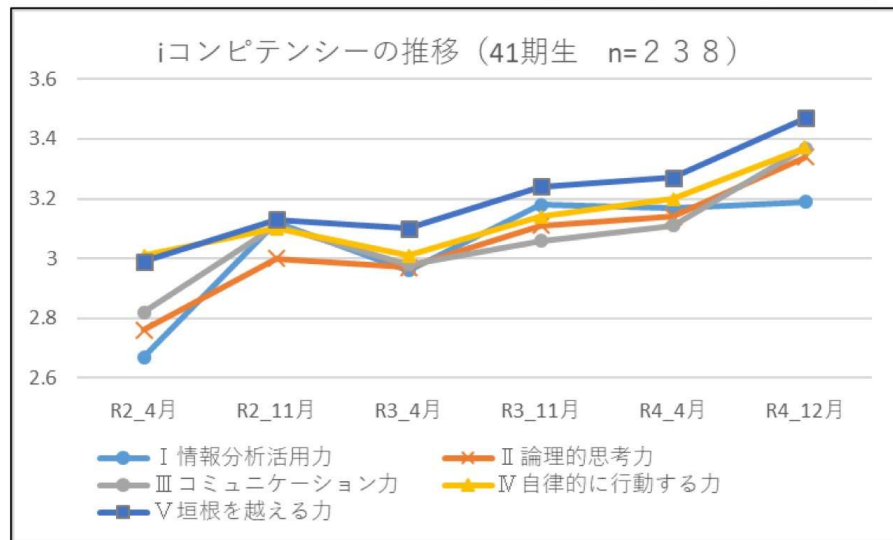
# iコンピテンシーの育成（生徒の変容）

## ○ iCアンケート（年2回実施）

iCルーブリックで構成された内容を基に、「1.不十分である」「2.やや不十分である」「3.おおむね十分である」「4.十分身につけている」の4段階で自己評価

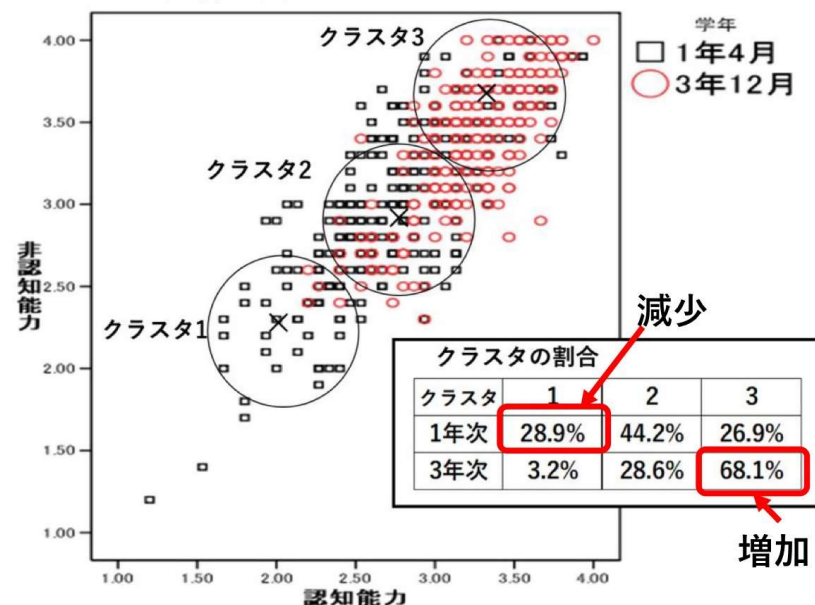
## ○ iコンピテンシーの推移（41期生 n = 238）

iコンピテンシー		R2 4月	R2 11月	R3 04月	R3 11月	R4 04月	R4 12月
I 情報分析 活用力	AV	2.67	3.12	2.96	3.18	3.17	3.19
	SD	0.539	0.424	0.465	0.452	0.510	0.499
II 論理的思考力	AV	2.76	3.00	2.97	3.11	3.14	3.34
	SD	0.483	0.471	0.456	0.466	0.508	0.447
III コミュニケーション力	AV	2.82	3.11	2.98	3.06	3.11	3.37
	SD	0.582	0.556	0.551	0.543	0.565	0.865
IV 自律的に 行動する力	AV	3.01	3.10	3.01	3.14	3.20	3.37
	SD	0.489	0.485	0.549	0.518	0.522	0.492
V 垣根を 越える力	AV	2.99	3.13	3.10	3.24	3.27	3.47
	SD	0.583	0.489	0.545	0.505	0.529	0.644



## ○ 認知能力、非認知能力の変容（41期生 n = 238）

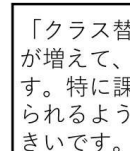
iコンピテンシー I・II を認知能力、III・IV・V を非認知能力としてクラスタ分析を実施



## ○ 生徒インタビューより



「体育祭や文化祭、修学旅行など、学校の行事が多くあり、それらに参加することで、他の生徒たちとの交流が深まりました。授業で行ったペアワークでは初めての人も積極的に話せるようになりました。3年間の授業でのグループワークや課題研究が増えたおかげで、協力やチームワークの大切さを実感しました。それが将来にも役立つと思います。」



「クラス替えや部活動、課題研究などで他の生徒と関わる機会が増えて、コミュニケーション能力がぐんと上がったと感じます。特に課題研究の学会発表では、自分の考えをしっかりと伝えられるようになりました。新しい人との交流が増えたことも大きいです。課題研究や部活動で他校の人たちとも関わりになり、それが自分の視野を広げてくれました。」



（○DATA：41期生（6回の調査をすべて受けた生徒238名）○分析：SPSSによる）